

2023 年度 夏期海外短期研修 募集要項

1. 募集プログラム

研修名	定員	研修先	研修期間
カナダ英語研修	10～	ウォータールー大学レニソンカレッジ 付属語学学校	8月28日(月)～9月22日(金)
イギリス英語研修	10～	ロンドン大学アジア・アフリカ学院 (SOAS)	8月21日(月)～9月8日(金)
タイ英語研修	なし	チェンマイ大学語学研修センター	8月21日(月)～9月8日(金)
フランス語研修(フランス)	10～	リヨン・カトリック大学付属語学学校	9月4日(月)～9月29日(金)
台湾中国語研修	10～	国立清華大学	8月14日(月)～9月1日(金)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、現地での研修実施が難しい場合、オンラインプログラムに切り替えを行うことがある。

※最少催行人数に満たない場合、研修は航空券の条件を変更して実施、または中止の可能性もある(チェンマイ大学については最小催行人数の規定なし)。

※上記の記載は研修予定期間となり、日程は変更されることがある。渡航日/帰国日は原則として研修開始前日または前々日/研修終了翌日となり、航空券予約状況によって追って確定される。

2. 説明会

名称	日程	時間	内容	会場
海外短期研修 説明会・応募 説明会	4月20日 (木)	12:10～ 12:50	研修の概要説明および応募手 続等について説明(事前申込 不要)	オンライン(zoom) https://zoom.us/j/97828775779 ミーティングID: 978 2877 5779

※説明会の内容は、後日kibacoに録画をアップする。

3. 応募にかかる手続き

(1) 応募資格

- ① 本学学部又は大学院の正規課程に在学する学生(休学者を除く)であること。
- ② 語学力を高めるといった目的意識を持ち、積極的にプログラムに参加する意志があること。
- ③ 新型コロナウイルス感染症の影響下における渡航であることを理解し、感染症対策を怠らず参加する意志があること。なお、渡航の1か月前の時点において渡航先の感染症危険レベルが2以上となった場合には、速やかに「誓約書」(【様式4】)記載の全項目について熟読、確認し、本人及び保証人が同意、署名の上、提出ができること。

(2) 応募受付期間(事前エントリーと応募書類受付)

4月17日(月)～5月12日(金)17:00(厳守)

(3) 応募書類提出先、及び受付時間

国際課(南大沢キャンパス) 月～金 9:00～17:00(12:30～13:30を除く)

※日野・荒川キャンパス所属の学生は、各々のキャンパスの学務課教務係窓口で提出することもできる。

(4) 事前エントリー方法と応募書類

① 事前エントリー

応募志願者は、下記のWebシステムにアクセスし、必要事項を入力して送信すること。

URL:

<https://forms.office.com/r/pKNU43bZmc>

QRコード:



② 応募書類の提出

事前エントリー終了後に、下記の応募書類を提出すること。

応募書類	注意事項
1. 申込書 【様式1】	カラー写真(4x3cm)添付(裏面に氏名を記入のこと)
2. 志望理由書	・400～800字以内 ・Wordファイルのページレイアウトタブ中の原稿用紙設定で「マス目付き原稿用紙」を選択し、以下を指定。 ・用紙サイズ = A4 ・印刷の向き = 縦 (氏名を明記しホチキス止めすること)
3. 同意書 【様式2】	
4. 受験票 【様式3】	
5. 学生証(コピー)	表面のみ
6. パスポート(コピー)	パスポート未取得、または残存期間が不足する場合は、派遣学生に決定次第、パスポートの発給または更新を申請すること。この際、パスポート発給までに要する時間に注意すること(新規発給申請時の必要書類の一つである戸籍謄本又は抄本(原本)は、本籍地のある市区町村の役所で発行される)。
7. 健康状況申告書【様式5】	各項目の記入及び項目へのチェックをして提出のこと。渡航にあたり健康上不安がある場合等には事前に医師に相談、確認のうえ応募すること。 (万一、提出された健康状況申告書に重大な不安要素等がある際には決定取消となる場合もあり、その時点で払込済の旅費その他に発生する旅行代金のキャンセル料等は学生の自己負担となる)。

※誓約書【様式4】については、応募時の提出は不要。提出が必要となった場合に備え予め内容を確認しておくこと。

(5) 応募書類作成及び提出にかかる注意

- ① 夏期海外短期研修において第1希望の研修先の他に第2希望の研修がある場合は、2023年度夏期海外短期研修申込書の「応募研修」の欄に1～2の希望順位を記入すること。
- ② 志望理由書以外の全ての提出書類は、黒色のボールペン又は耐水性ペンで、手書きで記入すること。消せるボールペンは不可。原本で提出が必要な書類について訂正がある場合、訂正箇所にも二重線の上、訂正印を押印すること。
- ③ 募集要項は、国際センター・国際課ホームページの、“研修先一覧”のページからダウンロードすることもできる。
URL: https://www.ic.tmu.ac.jp/study_overseas/list_for_training.html
- ④ 全ての提出書類は、コピー1部を控えとして各自保管しておくこと。

(6) 受験番号の通知

南大沢キャンパス国際課窓口にて応募書類を提出した学生は、受付時、受験票【様式3】に受験番号を記載する。
日野・荒川キャンパス学務課教務係窓口にて応募書類を提出した学生には、応募締め切り後、eメールにて受験番号を通知する。万一、受験番号通知が届かない場合は、<shortdoc@jmi.tmu.ac.jp>まで問い合わせること。

(7) 参加学生の決定

応募者数が各研修の募集定員を超えた場合は、抽選の上、参加学生を決定する。

(8) 参加学生の発表

5月16日(火)12:00

CAMPUS SQUARE掲示板への掲載、及び国際課前(南大沢キャンパス国際交流会館1階)の掲示により発表する。

(9) 海外短期研修経済支援金 ※給付型(返済の義務無し)

[支援内容] 本研修については、以下の支給額にて経済支援を行う。

- ① 現地派遣プログラムの場合、渡航先により以下の額を支給する。
カナダ:70,000円 イギリス:90,000円 タイ:50,000円 フランス:70,000円 台湾:50,000円
- ② 新型コロナウイルス感染症拡大による渡航先国の方針によりオンラインプログラムへ変更となった場合には、各プログラムの授業料(滞在費その他を除いたもの)の50%(但し①の現地派遣プログラムの支給額を上限と

する)相当の額を支給する。 ※この場合の換算レートは大学の規定に基づいて行う。

[支援受給のための条件]

参加学生は、以下の全てを履行した後に、海外短期研修経済支援金を受給することができる。

1. 経済支援金受給に必要な振込口座登録(本人名義口座)
2. 全ての説明会やオリエンテーション等への出席
3. 研修開始前・後の英語能力測定試験の受験(英語研修参加者のみ)
4. やむを得ない事情がある場合を除く、研修先の授業及び課外活動(オプションは除く)への毎回の出席
5. 帰国後に実施するフィードバックミーティングへの出席
6. 海外短期研修報告書及びアンケートの提出

[注意事項]

オリエンテーションの欠席は、原則として認めない。ただし、正規授業への出席の場合は除く。無届の遅刻や欠席、また期限までの課題の提出を怠った場合、経済支援金を支給しない場合がある。なお、上記(9)の通り、経済支援金の金額は研修先により異なる。

(10) 単位認定

本研修について、単位認定(2単位)を行うことができる。単位認定の詳細については別途応募説明会等で確認すること。

(11) 参加学生決定後の予定

日程	時間	内容	会場
5月中旬～下旬	12:05～12:55	第1回オリエンテーション (研修概要と申込手続きについて)	オンライン
6月～7月	12:05～12:55(原則昼 休み時間)	第2回～3回オリエンテーション (単位認定等について)	対面を予定(場所、回数は研修に よって異なるため追って連絡)
7月下旬～8月中旬	各自実施(英語研修 参加者のみ)	研修前英語能力測定試験	各自web受験
7月下旬～8月上旬	18:00～19:30	外務省講演会	国際交流会館大会議室(予定)
8月上旬～中旬	18:00～19:30	出発前オリエンテーション (渡航関連諸注意等)	国際交流会館1階大会議室(オンライ ンに変更の可能性あり)
8月～9月 海外短期研修			
研修後	各自実施(英語研 修参加者のみ)	研修後英語能力測定試験	各自web受験
研修毎に追って通知	各自実施	報告書とアンケートの提出	Kibacolにアップロード
9月下旬～10月上 旬	追って通知	フィードバックミーティング	国際交流会館
11月		経済支援金の支給	

(12) 応募にあたっての注意

- ① 研修費用は、参加学生数の増減、為替レートの変動等により変更される場合がある。
- ② 応募者は、保証人の同意を得たうえで同意書を提出すること。申込時に未成年の場合、保証人は保護者とする。
- ③ 応募資格について確認が必要な場合は、事前に海外留学相談室または国際課に相談すること。
- ④ 海外短期研修に応募を希望する者で、障がい等を有する等、研修参加にあたり特別な配慮の必要な方は、応募前にできるだけ早く国際課(南大沢キャンパス)に相談すること。
- ⑤ 参加学生に決定した後は、原則として辞退することはできない。現地派遣研修が新型コロナウイルス感染症等の理由により実施できず、オンラインプログラムに切り替わった場合も同様とする。
- ⑥ 現地派遣プログラムについては新型コロナウイルス感染症の影響等により、事前または研修中であっても中止(途中帰国)を決定する場合があります。時期により既に支払が発生している費用については払い戻しができない場合がある。これらの事態が生じる可能性があることを理解した上で応募し、万一の際は大学の決定及び指示に従うこと。
- ⑦ 現地派遣プログラム参加者については、病気・事故・事件等の万一の場合に備え、派遣全期間(自宅出発日から帰宅日まで)について、本学の指定する保険会社及び補償内容の「海外旅行保険」と、本学の指定する「海外危機管理システム」に加入すること(この加入費用(15,000円程度)は自己負担)。さらに、上記の海外旅行保険が

- 研修先の指定する補償要件を満たさない場合は、併せて研修先が指定する保険にも加入しなければならない。
- ⑧ 本研修は夏期休業中の日程となるため、次学期の授業開始日及びガイダンス等の日程を確認しておくこと。新型コロナウイルスの水際対策による隔離等が発生する可能性を考慮し、授業等を欠席せざるを得ない場合があることを理解すること。
- ⑨ 参加学生は、全てのオリエンテーション(研修前) フィードバックミーティング(研修後) に出席のうえ、英語研修参加者については研修前・後に実施する英語能力測定試験を受験すること。
- ⑩ 応募者多数の場合、**以下に該当しない**学生が抽選に於いて優先される。
- ・ 国費外国人留学生
 - ・ 東京都市外交人材育成基金により受け入れられた外国人留学生
 - ・ 過去に実施した海外短期研修(春期・夏期)に参加した学生

【問合せ先】国際課(南大沢キャンパス)

月～金 9:00 - 17:00(12:30 - 13:30を除く)

短期研修担当宛

Email: shortdoc@jmj.tmu.ac.jp

カナダ英語研修

研修実施機関	<p>ウォータールー大学レニソンカレッジ付属語学学校：オンタリオ州ウォータールー</p> <p>Renison University College University of Waterloo English Language Institute(ELI) (https://uwaterloo.ca/english-language-institute/programs/general-english)</p>
研修の目的	<p>本研修は、英語によるコミュニケーション能力を磨き、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。カナダの歴史や文化を学ぶことにも重点を置いている。</p>
研修の概要	<p>General English at Renison (GEAR)は、レニソンカレッジが提供する4週間（計約100時間）の英語プログラムである。プログラムの目標は、学生の語学力の向上、英語での文章力・会話力の向上、ウォータールーおよびカナダの文化に関する知識の向上を図ることである。コンテンツは、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング、文法、イノベーション強化、文化研究などで、どのような状況でも自信を持ってコミュニケーションできるスキルを身につける。</p> <p>授業に加え、日帰り旅行（有料、選択制）や交流イベント等を通じてカナダの文化を学ぶ機会が提供される。また、「イノベーション強化(Innovation Enrichment)」がプログラムに含まれる。「カナダのシリコンバレー」と呼ばれるウォータールーにおいて、スタートアップ企業の訪問などを通じ、イノベーションと起業家精神に触れることができる。スケジュール等の詳細はホームページを参照。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の状況により、研修中止またはオンライン開催の可能性がある。</p>
期待する研修の効果	<p>レベルにより学習目標（レベル1-5：英語学習の基礎となる4技能の向上。レベル6-9：大学入学準備講座）が設定されており、集中的な英語クラスを通し英語運用能力の更なる向上や、将来的に中・長期の留学に必要な語学能力を習得することを期待する。また、カナダの文化・歴史・起業家精神等についても学ぶ。</p>
研修期間	<p>2023年8月28日（月）～9月22日（金）このうち土日・協定校の祝日を除く(時間割は曜日によって異なる、詳細はレニソンのHPで公開)※8月26日（土）または27日（日）日本出発、9月23日（土）または24日（日）現地出発予定（航空券の手配状況による）</p>
宿泊施設	<p>原則としてホームステイ（状況に応じ、学生寮となる可能性もある）。</p>
参加費用	<p>約700,000円（3月6日時点参考レート1CAD=100円で計算。ホームステイの場合。今後、為替・参加人数・燃油サーチャージの変動等によって参加費用が変動する可能性があることに注意）</p> <p>（内訳）</p> <p>【研修費用】1,823CAD（約19万円、通常1,848CADから協定校割引）</p> <p>【研修費用以外】</p> <p>宿泊費：1,380～1,425CAD（約14万円・現地到着日によって変動）…ホームステイ、3食付き、通学用バス1か月定期込、原則として個室</p> <p>※空き状況により、学生寮滞在の場合1,725CAD（約18万円）ダブルルーム、交通費不要</p> <p>渡航費用：航空券代約280,000円、現地空港からカレッジへの送迎費（130～300CAD、人数で変動）</p> <p>海外旅行保険および『危機管理システムJ-TAS』会費 約15,000円（渡航期間）</p> <p>※その他諸費用（ホストファミリーの要望に応じPCR検査費用など）が発生する可能性がある。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、別途自主隔離費用等が発生する可能性がある。</p>
支払期日 支払方法	<p>現地到着日の1ヶ月前まで</p> <p>支払いはクレジットカード（VISA, MasterCard, AMEX, Diners Club）または海外送金（Western Union GlobalPay）※クレジットカード支払いの場合、2.5%の手数料が別途チャージされる。</p>

イギリス英語研修

研修実施機関	<p>ロンドン大学アジア・アフリカ学院(SOAS)IFCELS : ロンドン School of Oriental and African Studies (SOAS), University of London International Foundation Courses & English Language Studies (IFCELS) (https://www.soas.ac.uk/ifcels/summer/)</p>
研修の目的	本研修は、英語によるアカデミックスキル能力を高め、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。
研修の概要	<p>英語習得に特化した1コース（English Language Skills Course）と、専門科目を学ぶ3つのコース（Academic Subject Course）から1コースを選び開講する。</p> <p>英語を学ぶEnglish Language Skills Courseは、アカデミックなリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングのスキルを向上させるための集中トレーニングコースである。Academic Subject Courseは、<u>Introduction to the Media</u>、<u>International Relations</u>、<u>Global Development Studies</u> の3コースである。</p> <p>大学で使用するアカデミックな英語に重点を置いているため、English Language Skills CourseはIELTS 4.5 (TOEFL IBT 60)、Academic Subject CourseはIELTS 5.5 (TOEFL IBT 76)を満たしていることが望ましい（必須ではない）。より高い英語レベルを求める学生、興味のある専門科目を英語で学びたい学生に適している。</p>
期待する研修の効果	アカデミック英語について、特定の分野におけるスキルアップを図り、英語運用能力の更なる向上や、将来的に中・長期の留学に必要な語学能力を習得することを期待する。
研修期間	<p>2023年 8月21日（月）～9月8日（金）このうち土日・協定校の祝日を除く ※ 8月19日（土）または20日（日）日本出発、9月9日（土）または10日（日）現地出発予定（航空券の手配状況による）</p>
参加費用	<p>約870,000円（3月6日時点参考レート1ポンド=163円で計算。今後、為替・参加人数・燃油サーチャージの変動等によって参加費用が変動する可能性があることに注意） 内訳は以下の通り； 授業料：1,805ポンド（約300,000円、通常1,900ポンドから協定校割引） 宿泊費：940ポンド（約155,000円）※プログラム開始前日チェックイン、終了翌日チェックアウトでの費用。航空券の手配状況により延泊となった場合、一泊当たり47ポンドの追加費用が発生する。 ラッセル・スクエア・キャンパスから徒歩20分の場所にあるデインウイディ・ハウスに滞在予定。食事なし、原則として個室 ※空き状況によりシェアルームの可能性あり、部屋のグレードにより金額変更の可能性あり 渡航費用：航空券代約360,000円、現地空港から大学への送迎費（180～800ポンド、往復、人数で変動） 海外旅行保険および『危機管理システムJ-TAS』会費 約15,000円（渡航期間） ※その他諸費用（受入機関の要望に応じPCR検査費用など）が発生する可能性がある。 ※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、別途自主隔離費用等が発生する可能性がある。</p>
申込期日 申込方法	大学で一括申込を行う。別途書類作成・ウェブサイトへの登録等が必要な場合があるため、担当者の指示に従うこと。
支払期日・ 支払方法	<p>コース開始1ヶ月前 支払いはクレジットカード（Visa、Mastercard、Eurocard、Switch、Maestro、Solo、Delta）</p>

タイ英語研修

研修実施機関	チェンマイ大学 語学研修センター ：チェンマイ Language Institute Chiang Mai University (http://www.li.cmu.ac.th/)
研修の目的	本研修は、英語によるコミュニケーション能力を磨き、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。
研修の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・チェンマイ大学語学研修センター所属のネイティブスピーカーの講師の下、様々な場面に即した実践的な英語のプログラム（一日3時間、週15時間）が提供される。他者と積極的にコミュニケーションできるようなスキルを涵養することを目指す。 ・英語のプログラムに加え、サステナビリティをテーマとし、様々なフィールド、地場産業を訪問したり、地元NGOと少数民族のコミュニティへの支援などを実施し、タイの文化・社会という文脈もふまえた、グローバルな問題意識を養う。 ・歴史ある寺院やチェンマイ近郊の美しい自然へのフィールドトリップ、象とのふれあい、ムエタイなどのタイ文化を体験できる機会もプログラムに組み込まれている。 <p>※コロナウィルスの感染状況により入国が制限される場合は、オンラインでの実施となる。</p>
期待する研修の効果	実践的なコミュニケーションスキルに焦点を当て、プレゼンテーションで自分の意見を的確に伝えるスキル、スムーズな日常会話をおこなうためのコミュニケーション力などを磨き場面に応じた英語を使いこなせるようになることが期待される。
研修期間	2023年8月21日(月) ～ 9月8日(金) 旅程（23日間） [出国] 8月19日（土）または20日（日）東京・羽田または成田空港発／（バンコク経由）チェンマイ国際空港着 [帰国] 9月9日（土）または10日（日）チェンマイ国際空港発／（バンコク経由）東京・羽田または成田空港着 （航空券の手配状況による）
宿泊施設	語学研修センターの提示する選択肢から選ぶ
参加費用	<p>約417,000円（3月6日時点での費用。ただし、為替・参加人数・燃油サーチャージの変動等によって参加費用が変動する可能性があることに注意）</p> <p>（内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修費用 約202,000円（参考レート 1バーツ = ￥3.84 2023年3月現在） （プログラム費用他 30,876.5THB、宿泊費8,750THB、交通費12,992THB） ・旅行費用 約200,000円（燃油サーチャージ、空港税等含む。2022年10月現在） ・現地空港送迎費用は研修費用に含まれる ・海外旅行保険および『危機管理システムJ-TAS』会費 約15,000円（渡航期間） <p>※上記参加費用に含まれないもの（費用は参加者負担）</p> <p>プログラム参加中の食費</p> <p>※その他諸費用（受入先機関の要望に応じPCR検査費用など）が発生する可能性がある。</p>
支払方法	クレジットカード（Visa、Mastercard）でチェンマイ大学指定のHPより個人で払込。支払期限は、7月14日。

フランス語研修（フランス）

研修実施機関	<p>リヨン・カトリック大学 附属語学学校 (ILCF) : リヨン Université Catholique de Lyon, Institut de Langue et de Culture Françaises (ILCF) (http://www.ilcf.net/en/)</p>
研修の目的	<p>本研修は、言語と文化を結びつけたプログラムを通し、フランス語及びフランス文化を学び、その理解を深め、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。</p>
研修の概要	<p>フランスの文化省により教育内容やサービスレベルの質が保証された良質な語学学校として“Qualité FLE”の認証を受けたリヨン・カトリック大学附属語学学校にて、CEFR A1～ B2（初学者から中上級者）向けのフランス語コースを提供する。</p> <p>時間数は80時間（週20時間）で、文化体験などのアクティビティも実施予定であり、フランスの歴史や文化について学ぶ機会も提供される。</p>
期待する研修の効果	<p>初級から上級まで、レベルごとに学習目標が設定されており、フランス語運用能力の更なる向上や、将来的に中・長期の留学に必要な語学能力を習得することを期待する。</p>
研修期間	<p>2023年9月4日（月）～9月29日（金） 8:30-12:30（月・金） それ以外の曜日 8:30-12:30 /13:30-15:30 ※例外日あり 水曜午後はアクティビティあり ※9月3日または4日日本出発/（経由便にて）9月30日現地出発（経由便にて）→10月1日日本着予定（航空券の手配状況による）</p>
宿泊施設	<p>学生寮</p>
参加費用	<p>約600,000円（3月6日時点参考レート1EUR=144円で計算。今後、為替・参加人数・燃油サーチャージの変動等によって参加費用が変動する可能性があることに注意）</p> <p>（内訳）</p> <p>【研修費用】772EUR（約11万円、通常価格838EURから協定校割引）</p> <p>【研修費用以外】</p> <p><u>宿泊費</u>：610EUR（約9万円）保証金410EUR…学生寮、食事なし、原則として個室。保証金は問題なければ返還</p> <p>※空き状況によりシェアルームの可能性あり、部屋のグレードにより金額変更の可能性あり</p> <p><u>渡航費用</u>：航空券代約330,000円、現地空港から大学への送迎費（180～800EUR（往復）、人数で変動）</p> <p><u>海外旅行保険および『危機管理システムJ-TAS』会費</u> 約15,000円（渡航期間）</p> <p>※その他諸費用（受入先機関の要望に応じPCR検査費用など）が発生する可能性がある。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、別途自主隔離費用等が発生する可能性がある。</p>
支払期日 支払方法	<p>申込締切：5月19日（金） 支払締切：7月7日（金）</p> <p>支払いはクレジットカード（VISA, MasterCard）</p>

台湾中国語研修

研修実施機関	<p>国立清華大学華語センター：新竹市</p> <p>National Tsing Hua University Chinese Language Center</p> <p>(https://clc-cc.vm.nthu.edu.tw/home/index.php)</p>
研修の目的	本研修は、言語と文化を結びつけたプログラムを通し、中国語および中華文化を学びその理解を深め、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。
研修の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・本学協定校であり、台湾トップ校の一つである国立清華大学に付属の華語センターにおいて、少人数クラスで3週間（週15時間）の中国語授業を受講する。 ・中国語授業に加え、文化研修およびフィールドトリップも実施し、中華文化を学ぶとともに、台湾の社会・文化・歴史・自然への知識を深める。 ・半日のフィールドトリップはお茶の博物館、客家の伝統的な文化様式を残す地区への訪問などの3つから選ぶことができ、文化研修では中国文化について講師から学ぶ。 ・語学パートナー（パディ）との実践的な会話の時間も設けられている。 <p>※新型コロナウイルスの感染状況により入国が制限される場合は、オンラインでの実施となる。</p>
期待する研修の効果	授業では、「聞く/話す/読む/書く」の4技能をバランスよく身につけるとともに、特に日本では得難い「聞く・話す」に重点を置いた実践的な中国語学習を通し、中国語の運用能力を高める。
研修期間	<p>2023年8月14日（月）～9月1日（金）</p> <p>旅程（23日間）</p> <p>【出国】8月12日（土）または13日（日）東京・羽田空港発／台湾松山空港着</p> <p>【帰国】9月2日（土）または3日（日）台湾松山空港発／東京・羽田空港着（航空券の手配状況による）</p>
宿泊施設	大学寮（4人部屋）
参加費用	<p>約460,000円（3月6日時点での費用。ただし、為替・参加人数・燃油サーチャージの変動等によって参加費用が変動する可能性があることに注意）</p> <p>（内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修費用 約268,500円（参考レート 1NT\$ = ￥4.44、2023年3月現在） （プログラム費用他 NT\$57,362.5、宿泊費NT\$3,150） ・旅行費用 約180,000円（燃油サーチャージ、空港税等含む。2023年3月現在） ・現地空港送迎費用は旅行費用に含まれる ・海外旅行保険および『危機管理システムJ-TAS』会費12,000円（渡航期間） <p>※上記参加費用に含まれないもの（費用は参加者負担）</p> <p>プログラム参加中の食費</p> <p>※その他諸費用（受入先機関の要望に応じPCR検査費用など）が発生する可能性がある。</p>
支払方法	国立清華大学指定のHPに登録後、個人でクレジットカード（Visa、Mastercard、JCB）を用いての支払い。支払期限は、7月14日。

2023 年度 夏期

海外短期研修 参加申込書

写真
(4cm×3cm)

【応募受付期間】 2023 年 4月17日 (月) ~ 5月12日 (金) 17:00

【受付時間】 9:00 - 17:00 (12:30 - 13:30 を除く)

【提出先】 国際課 (南大沢キャンパス国際交流会館1階)

※ 日野・荒川キャンパス所属の学生は、各キャンパス学務課教務係窓口で提出することもできる

応募研修	応募を希望する研修に○を記入すること ()カナダ英語研修 ()イギリス英語研修 ()タイ英語研修 ()フランス語研修 ()台湾中国語研修 ※希望する応募先が複数ある場合、○ではなく第1希望の研修に(1)第2希望の研修に(2)を記入すること。 抽選の結果、第2希望の研修先に合格した場合も辞退は認められないため、どちらの研修先であっても参加したいという強い意志を持っている場合に記入すること。					
フリガナ 氏名		ローマ字 氏名	(必ずパスポートと同じつづりを記入)			
所属 (○で選択)	学部 研究科	学科 専攻・学域	系 コース	年次		
学修番号	生 年 月 日	西 暦	年	月	日	(才)
現住所	〒 TEL(自宅): _____ Email(PC): _____ TEL(携帯): _____ Email(携帯): _____					
保証人 住所	フリガナ 氏名 (印) (続柄:) 〒 TEL(自宅): _____ Email(PC): _____ TEL(携帯): _____ Email(携帯): _____					
海外短期派遣 プログラム参加歴	※過去に本学実施の海外短期派遣プログラムに参加歴がある場合は記載すること。応募者多数の場合、当該プログラムの参加歴の無い者が抽選に於いて優先される。					
英語研修応募 者の英語スコア	IELTS	点	TOEFL-iBT	点		
	TOEIC	点	実用英語技能検定(英検)	級		
フランス語/ 中国語検定等 スコア						

私及び上記の保証人は、募集要項に記載された事項及び研修内容を十分理解した上で本研修に応募します。また上記の個人情報を、研修先大学等に研修実施及び緊急時の対応に必要な範囲内において提供することに同意します。

申込書提出日: 2023 年 月 日 申込者の署名: _____

※ ①既に事前エントリー済みであること、及び②下記の書類を添付していることを、申込者本人が確認の上、欄内に丸印(○)を記載すること。

事前 エントリー	志望理由書	同意書 【様式2】	受験票 【様式3】	学生証(写)	健康状況申告書 【様式5】	パスポートコピー

同意書

東京都立大学 学長 殿

私は、以下の事項 A～C について内容を十分に理解し、同意した上で 2023 年度夏期海外短期研修に応募いたします。

2023 年 月 日

学修番号 _____ 学生署名 _____

保証人は本同意書内の記載事項に同意し、また学生本人が同意事項を遵守することを保証いたします。

保証人署名 _____ (学生との関係： _____)

＜事項 A：参加申込書提出前に特に留意すべきこと＞

1. 参加申込者及び保証人は、共に募集要項を熟読し理解した上で参加申込を行うこと。
2. 参加学生の決定は、本学が定める方法により本学が行う。
3. 応募者は、海外短期研修に係る費用について十分理解し、保証人等の経済的負担者の了解を事前に得た上で参加申込を行うこと。また、費用は定められた期日までに支払うこと。
4. 応募者は、参加学生に決定後は原則として辞退出来ない。現地派遣研修がオンライン研修に切り替えとなった場合も同様とする。
5. 参加学生としての責務を怠った、または参加学生として適当でないと学長が認めた場合、経済支援金の支給を取り消す場合がある。この場合、既に支払った旅費等については払い戻し不可となることがある。
6. 参加学生は、本学の研修運営、広報等の情報共有のため、研修中の学修や生活情報を本学へ提供し、報告書、報告会及びホームページ等に於いて自身の体験を伝える等の協力をする事。
7. 本学は、研修先での成績や語学試験の成績情報等を、研修先や試験実施機関から取得する。
8. 現地派遣研修の場合、研修に係る研修参加費用の徴収、その他事務手続きを本学が指定する旅行代理店（以下、代理店という）が行う場合がある。
9. 現地派遣研修の場合、本学は、研修実施及び緊急時の対応に必要な範囲内で研修先や代理店等へ個人情報を提供する場合がある。
10. 現地派遣研修の場合、新型コロナウイルス感染症の影響下における渡航であることを理解し、感染症対策を怠らず参加する意志をもって、また以下についても了承の上申し込みをすること。
 - ア. 渡航の1か月前の時点において渡航先の感染症危険レベルが2以上となった場合には、速やかに「誓約書」（【様式 4】）記載の全項目について熟読、確認し、本人及び保証人が同意、署名の上、提出すること。
 - イ. 派遣決定から研修修了までの各時点において、渡航先国または日本の方針により必要となる手続き等については各自で行うこと（費用本人負担）。またその手続きや必要書類提出の遅れ、未提出等により発生するキャンセル料等についても自己負担となる。

＜事項 B：参加決定後からプログラム開始までに特に留意すべきこと＞

1. 海外短期研修参加にあたり、出席が義務付けられているオリエンテーションや説明会等には、全て出席すること。また、英語研修に参加する学生は、研修前後に、本学が指定する語学試験を受験すること。欠席は、原則として正規授業への出席の場合以外認めない。無届の遅刻や欠席があった場合は、経済支援金を支給しない場合がある。
2. 研修参加に必要な諸手続き（研修先に提出する各種書類の作成、参加費用の支払等）は、自らの責任に於いて行うこと。
3. 提出が必要な書類の提出期限を厳守すること。提出方法についてはオリエンテーションまたはメール等にて国際センター、国際課より通知する。
4. 参加費用の支払期限を厳守すること。支払方法（振込、海外送金、クレジットカード決済など）については研修先ごとに異なるため、オリエンテーションでの案内に沿って支払を行うこと。

＜事項 C：プログラム開始後に特に留意すべきこと＞

1. 現地派遣プログラムについては新型コロナウイルス感染症の影響等により、事前または研修中であっても中止（途中帰国）を決定する場合があります、時期により既に支払が発生している費用については払

い戻しができない場合がある。これらの事態が生じる可能性があることを理解した上で応募し、万一の際は大学の決定及び指示に従うこと。

2. 本研修は夏期休業中の日程となるため、次学期の授業開始日及びガイダンス等の日程を確認しておくこと。新型コロナウイルスの水際対策による隔離等が発生する可能性を考慮し、欠席せざるを得ない場合があることを理解すること。
3. 研修中は、本学の学生として責任ある行動をし、研修先での学業に精力的に取り組むこと。
4. 研修終了後は速やかに海外短期研修報告書とアンケート課題を提出すること。またフィードバックミーティングに出席すること。課題の提出を期限までに行わない、また無届の遅刻や欠席があった場合は、経済支援金を支給しない場合がある。

上下両方の表の太枠内を、ボールペン又は耐水性ペンを使用して記載し提出すること。

2023年度夏期海外短期研修 参加候補者選考受験票			
受験番号 (国際課記入欄)	学部 研究科	学科・系 専攻・学域	コース 年次
	学 修 番 号	氏 名	
<p>【注意】 この受験票は、2023 年度 夏期 海外短期研修 参加候補者選考結果が発表されるまで大切に保管すること。</p>			



2023年度夏期海外短期研修 参加候補者選考受験票			国際課控
受験番号 (国際課記入欄)	学部 研究科	学科・系 専攻・学域	コース 年次
	学 修 番 号	氏 名	

東京都立大学学長 殿

新型コロナウイルス感染症の影響下における渡航に関する誓約書

私は、海外渡航するにあたり、渡航先国・地域では自分自身で安全を確保しなければならないことを理解し、自覚と責任を持って、安全と健康に十分な注意を払うとともに、下記の事項を承諾・厳守することを誓約します。

記

✓欄

1. 渡航先国・地域が新型コロナウイルス感染症の影響により外務省による感染症危険情報レベル2（不要不急の渡航取り止め）又はレベル3（渡航中止勧告）であることを確認し、自らの判断と責任で渡航します。
2. 渡航中における新型コロナウイルスへの感染については、自らの責任として対処します。
3. 渡航中の疾病に対し、十分な補償が受けられる海外旅行保険に加入しています。
（保険会社名： _____ 証書番号： _____）
4. 危機管理サービスに加入しています。
（危機管理会社名： _____ サービス名： _____）
5. 渡航先国・地域の政府からの指示や在外公館からの通知に注意を払い、現地の法令を遵守するとともに、責任のある行動をとります。
6. 渡航先国・地域の治安や感染症の状況により、東京都立大学が帰国勧告等を決定する場合があることを理解し、その場合は速やかに指示に従います。
7. 渡航先国・地域が、感染症危険情報レベル4となった場合、東京都立大学の指示に従い速やかに帰国します。
8. 裏面「新型コロナウイルス感染症の影響により感染症危険情報レベル2以上に指定された国・地域への渡航前に確認すべき項目」を確認し、内容について理解しました。

年 月 日

所属： _____

学修番号： _____

学生の署名・印 _____

上記誓約書に記載されている事項及び学生の海外渡航に同意し、学生本人が誓約事項を遵守することを保証します。

年 月 日

保証人続柄： _____ 保証人の署名・印 _____

上記のとおり、確認し渡航を認める。

学部長、研究科長記名・印 _____

新型コロナウイルス感染症の影響により感染症危険情報レベル2以上に 指定された国・地域への渡航前に確認すべき項目

- (1) 渡航先国・地域における最新の感染状況を把握している。
- (2) 原則として、新型コロナウイルスのワクチン接種を完了し、出発前までに十分な免疫ができる期間を設けている。
- (3) 渡航先国・地域への渡航手段がある。
- (4) 渡航先国・地域に入国の可否及び入国に必要な手続について申請中であるか又は申請が完了している。
- (5) 渡航中の疾病に対し、十分な補償が受けられる海外旅行保険又は現地の保険に加入している。
- (6) 渡航先国・地域への入国時における水際措置及び入国後に取りべき行動について把握している。
- (7) 渡航先国・地域で感染の疑いが生じた場合、濃厚接触者として指定された場合及び感染した場合に渡航先国・地域において取るべき行動及び相談先を具体的に把握している。
例：
 - ・ 相談できる機関
 - ・ 検査できる機関
 - ・ 受け入れ可能な医療機関
 - ・ 滞在先
- (8) 渡航先国・地域で必要な生活物資が確保できる。
- (9) (留学の場合) 受入先大学等において留学生の受け入れ体制が取られている。
- (10) (留学の場合) 受入先大学等において十分な防疫措置がとられている。
- (11) 渡航先国・地域における新型コロナウイルス感染拡大抑止のための法令(マスクの着用等)を把握している。
- (12) 今後、渡航先国・地域において感染拡大した際に取りべき対応をシミュレーションしている。
- (13) 海外渡航を学生本人が望んでおり、保証人もそれに同意している。
- (14) 渡航先において重大事案に遭遇した際に、渡航先国・地域への入国時の水際措置等により、日本からの迅速な救援活動が行えない可能性があることを理解している。
- (15) 中止や延期に際した緊急帰国時や入国時の水際措置による費用等、新型コロナウイルス感染症の影響に際して発生する費用については学生自身の負担となることを理解している。
- (16) 感染症危険情報レベル2又はレベル3での渡航における特別措置は、新型コロナウイルス感染症の影響に限定した取扱いであることを理解している。

